

としょかん

いわて

岩手県立図書館報

2022.11

No.191



## contents

### 目次

ページ

02

岩手県立図書館創立100周年

08

県内図書館の活動紹介

平泉町立図書館

10

レファレンスコーナー

- ・ドラマ「水戸黄門」のお供の助さんと格さんのモデルになった人物を知りたい。
- ・岩手県立図書館の自動車文庫「こまどり号」について知りたい。

12

児童コーナー わかば通信

むかしばなし探偵

13

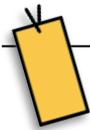
図書館掲示板

令和4年度巡回展のご案内



大正 11 年 4 月、盛岡市内丸に開館した岩手県立図書館。県民の読書活動を支える拠点として歴史を重ね、令和 4 年をもって創立 100 周年を迎えました。

岩手県立図書館の歴史に関するものから「100」にちなんだものまで、館内では 1 年を通して様々な企画を実施。100 年に 1 度のお祭りを祝いました。



## 企画展「岩手県立図書館 創立 100 周年展」

期間：令和 4 年 2 月 19 日(土)  
 ～5 月 5 日(木・祝)  
 会場：岩手県立図書館 4 階 企画展示コーナー

記念すべき 100 周年は、県立図書館の歴史を紹介する企画展「岩手県立図書館創立 100 周年展」を皮切りにスタートしました。

岩手県立図書館は、「平民宰相」として知られる盛岡市出身の政治家・原 敬<sup>はらたかし</sup>の寄付を受け、大正 11 年 4 月 20 日に開館しました。その後、現在もりおか歴史文化館として使用されている 2 代目館を経て、平成 18 年に 3 代目となるいわて県民情報交流センター(アイーナ)に移転開館しました。



▲原敬の自筆書簡。寄付の申し出のほか、設計図面に目を通した上で書庫が狭いので広くするよう助言している

企画展では、図書館設立に関わる原敬の自筆書簡のほか、巡回自動車文庫「こまどり号」の設計図など、貴重な資料を展示し、多くの方にご来場いただきました。

## ■関連映画会

### ◀上映作品▶

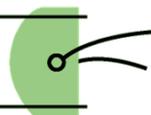
『岩手県立図書館・こまどり号』  
 2002 年 16 ミリフィルム 無声 13 分

『映像でみる戦後日本図書館のあゆみ  
 格子なき図書館』  
 2014 年 DVD 22 分

企画展関連イベントとして、3 月 13 日(日)と 4 月 4 日(月)に、映画会を開催しました。

上映した作品は 2 作とも図書館の歴史を記した貴重な映像ですが、特に『岩手県立図書館・こまどり号』は、昭和 43 年頃の岩手県立図書館の館内や、県内の読書普及の様子を伝える内容となっており、音声のない白黒のごく短い映像ですが、当時の雰囲気を感じることができます。

同作品は、4 月 23 日(土)に行われた「岩手県立図書館創立 100 周年記念式典」の後にも、100 周年記念特別映画会として上映されました。



令和4年4月23日(土)、岩手県立図書館が入居するいわて県民情報交流センター(アイーナ)の7階小田島組☆ほ～るを会場として、岩手県立図書館創立100周年記念事業を実施しました。

当日の様子について、事業を担当した後藤副館長からお話を伺いました。

## ■ 記念式典



▲岩手県立図書館創立100周年記念式典

午前10時、岩手県教育委員会の佐藤教育長の式辞によって式典が始まり、これまでの当館の簡単な経緯に触れた上で、「これからも県民の皆様へ期待されるサービスの提供を通じ、生涯学習推進の中核的施設として、また、地域の情報拠点であり続けたい」との考えが示されました。

次に、達増岩手県知事、五日市岩手県議会議長が祝辞を述べられ、それぞれ「県民の皆様が文学への興味・関心を高め、読書や文芸活動などに親しむ場として、県立図書館を御活用いただきたい」「人口減少社会の到来やグローバル化の進展といった社会変化への対応が求められる中、未来を担う子供たちに、多様な本との出会いや学びの場を提供することは、国内外や地域社会の様々な分野で活躍する人材の育成につながるものであり、今後ますます重要である」との期待が寄せられました。

続いて、前年に募集した作文コンクールの最優秀賞受賞者3人(小学生の部・中学生の部・一般

の部)を表彰するとともに、代表して中学生の部の岩波千果さん(応募当時盛岡市立黒石野中学校3年)に「本が私に教えてくれること」と題する作品を朗読いただきました。「本は私にとって生きていくために必要なものであり、何より自分自身のことを教えてくれる」「自分のことがわからなくなったときは図書館へ行き、じっくりと本を選べばよい」との力強い言葉に、参加者から大きな拍手が送られました。

式典の最後に館長が登壇し、開館当時の柿沼知事の式辞を引用しつつ、「県民のニーズ、県政課題への対応、社会的要請、時代の変化等を踏まえ、岩手の良さと魅力を発信することができる県立図書館として、県民の皆様の御期待に沿うよう務めを果たしてまいりたい」との決意が表明されました。

## ■ 鼎談

その後、「岩手県立図書館のこれまでを振り返り、これからを考える」をテーマに、新館移転当時の県関係者、当館との縁が深い大学教授に館長を加えた鼎談を行い、図書館の役割と在り方について意見を交換した上で、これからの100年を見据えた当館の姿に思いをさせていました。

## ■ トークショー

午後には、本県出身の作家である柚月裕子さんとエフエム岩手アナウンサーの阿部沙織さんによるトークショーを催し、300人を超える参加者が、当日の生質問なども話題にしながらのお二人による軽妙なやり取りを楽しみました。

100年に1度しかないせっかくの記念イヤー。思いっきり盛り上がりましょう！と、職員たちから有志を募り発足した、その名もチーム「100周年もりあげたい」。

もりあげたいメンバーに、100周年への想いを語ってもらいました。

## ■ そうか、100周年！

岩手県立図書館では、次年度の事業計画を前年度の10月頃から考え始めています。職員が提案する事業の中に「創立100周年」のワードが入り始めていた頃、総括責任者からふと「来年度の100周年、どうする？」と話しかけられました。「そうか、100周年！ 盛り上げたい！」と俄然やる気が湧きました。

## ■ テーマは「楽しむ！」

せっかくの機会、思い切り楽しみたいくて、チーム名(事業名)を「100周年もりあげたい」としました。楽しい気持ちが伝わるよう、柔らかい口語で文章を作成し、賑々しく有志を募ります。早速、志のあるメンバーが集まりました。

## ■ ブランディング？

総括責任者から話しかけられた言葉の中に「ブランディング」というワードがありました。100周年という祝祭の中でも、「岩手県立図書館の100周年」をどう印象付けるか、どう方向性を見出すのか、ということです。もりあげたいのミーティングでは楽しそうな事業が沢山提案されましたが、そこに「キャッチコピー」「ロゴマーク」を盛り込みました。その思い(ブランディング)のもと、全館一丸になればと思ったのです。

## ■ みんなも参加しよう！

チームで動いている事業ですが、全職員を巻き込みたいと考え、キャッチコピーは全職員から公募することに。ひと月ほどかけてみんなが考えたキャッチコピーは県立図書館のこれまでとこれ

からを真摯に見つめたもの、笑えるもの、なるほどと膝を打ちたくなるような言葉など、どれも素敵なものばかりです。総勢45名の職員から寄せられた案は76件に上りました。せっかくだから、これも全員で味わいたい！と思い、また全職員に投票してもらい、もりあげたいメンバーで精査。楽しく選定した結果、「本と人を結んで100年」に決定しました。

また、ミニ展示やイベントも「100周年」が想起されるものであれば何でも構わない、とし、職員全体で取り組んでもらいます。企画はどれも楽しそうで、100周年の図書館が賑やかになる予感がします。

## ■ どうせならみんなで！でっかく！

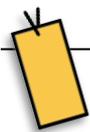
館内の掲示にもこだわりました。せっかくの広い館内、吹抜を有効に使い、160×350cmをはじめとする大型バナーを5点、職員全員で着用する缶バッジ、掲示物に入れるロゴマークも作成。デザインに長けたスタッフが作成しました。とても素敵です！



▲館内のあちこちに大型バナーを掲示

## ■ ワクワクは次の100年へ

100周年の企画は令和4年度を通して次々と開催します。「本と人を結んで100年」。この言葉に背中を押されながら、岩手県立図書館は次の100年に歩みだしています。



# 岩手県立図書館の歩みをたどる

## ■ 先人が語る、岩手県立図書館の豆知識

期間：令和4年4月1日(金)

～令和5年3月31日(金)

会場：岩手県立図書館3階・4階

1年を通して館内各所で展開されるパネル展示。岩手県立図書館設立を提案した第19代内閣総理大臣・原敬や、7代目岩手県立図書館長の作家・鈴木彦次郎、県立図書館の司書を務めそのコレクションが当館の啄木文庫の母体となった啄木研究家・吉田孤羊など、ゆかりの先人たちをナビゲーターとして、岩手県立図書館の歴史やサービス、郷土の先人と岩手県立図書館の関わりなど、さまざまな切り口から図書館の豆知識を紹介します。



▲館内に掲示された豆知識パネル

## ■ 岩手県立図書館のアルバム

期間：令和4年4月1日(金)

～9月30日(木)

会場：岩手県立図書館3階 飾り棚

初代・岩手県立図書館から現在までの、岩手県立図書館の様々な写真を展示したパネル展です。岩手公園にあった2代目館(現在のもりおか歴史文化館)の閲覧室や巡回自動車文庫「こまどり号」など、懐かしい風景の写真も。館外からも見られ

る飾り棚に設置したため、図書館に向かう人々が足を止めて見入っている様子も見られました。



▲館外から見たパネル展の様子

## ■ めいぐるみコンシェルジュによる世界に1つだけの100周年記念オリジナルパンフレット

第1弾：(お預かり)令和4年6月25日(土)

(お渡し)令和4年6月27日(月)

第2弾：(お預かり)令和4年11月19日(土)

(お渡し)令和4年11月21日(月)

お気に入りのめいぐるみをお預かりして、2日かけてめいぐるみたちが登場するパンフレットを作成しよう！というイベントです。県立図書館の歴史やサービスを紹介する100周年記念パンフレットを、自分だけの特別なものにする事で、図書館をより身近に、親しみを持ってもらえるきっかけとなってほしいという気持ちから企画しました。募集開始から2日で定員に達するなど大反響。Twitterでイベント紹介した際にも多くの『いいね!』をいただきました。次回開催のお問合せが多かったことから、11月に第2弾を開催することになりました。



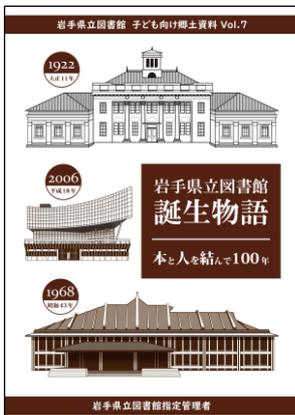
▲めいぐるみに手伝ってもらってパンフレット作製

## ■ MISSON ～岩手県立図書館の歴史 キーワードをあつめよう～

期間：令和4年8月5日(金)～7日(日)

岩手県立図書館の歴史やサービスについて楽しく知ってもらうクイズイベント。館内に貼られたポスターから、岩手県立図書館の歴史に欠かせないキーワードを探して回答用紙に記入してもらいます。問題は、気軽に参加できる○×形式のものと、より難しい問題にチャレンジしたい方向けの記述形式のものと2種類用意しました。

## ■ 子ども向け郷土資料 Vol.7 「岩手県立図書館誕生物語」



岩手県立図書館では、調べ学習に活用できるような児童向けの郷土資料が不足していることから、岩手県の歴史や風土について分かりやすくまとめた「子ども向け郷土資料」のシリーズを発行しています。第7

弾となる今回は、100周年に合わせた『岩手県立図書館誕生物語』。県立図書館の歴史や特別コレクションの紹介など、当館について分かりやすく学ぶことができます。

※当館ホームページからダウンロードしてご覧いただくことができます。

色んな「100」集めました  
～「100」にちなんだ企画イロイロ～

## ■ 100秒ってどのくらい！？

期間：令和4年4月1日(金)

～5月30日(月)

会場：岩手県立図書館3階 児童コーナー

同時期に児童コーナーで開催していたミニ展示「100年ってどのくらい!？」から本を借りると挑戦できるストップウォッチ100秒チャレンジ。一人で100秒に挑戦するもよし、家族みんなで合計100秒に挑戦するもよし。参加者全員の秒数を足して、100年(3,153,600,000秒)を目指します。惜しくも(?)100年には3,153,575,814秒足りませんでした。『岩手日報ジュニアウィークリー』で紹介されたこともあり、たくさんの人に参加していただきました。ピタリ賞は11名出ました。



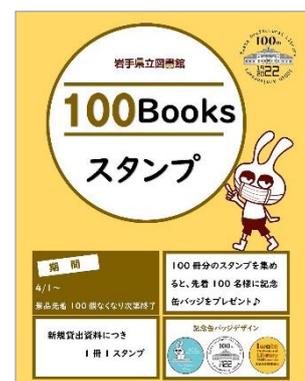
▲結果は合計24,186秒でした

## ■ 100BOOKs スタンプ

期間：令和4年4月1日(金)～

※景品がなくなり次第終了

新規貸出1点ごとにスタンプ1個。100冊分のスタンプを集めると先着100名様に当館オリジナルの記念缶バッジをプレゼント!!という「100」にこだわった100周年記念イベントです。目をキラキラさせながらスタンプカードを差し出す子どもたちにスタッフもほっこり。もちろん子どもたちだけでなく大人の方にもたくさん参加していただきました。スタンプカードは早々に配布終了、令和4年11月現在、缶バッジも残り僅かとなっています。





# 県内図書館の活動紹介

県内各地の図書館から特徴と活動をご紹介します

## 平泉町立図書館

所在地：〒029-4102 平泉町平泉字志羅山 25-3 平泉町学習交流施設エピカ内

TEL: 0191-34-6656 FAX: 0191-34-6657 Email: toshokan@hiraizumi-epica.com

現館建築年月：令和4年7月 延べ床面積：1,415㎡



図書の蔵書冊数： 43,466 冊 (令和4年7月1日現在)

年間来館者数： 9,397 人 (令和3年度)

年間登録者数： 2,521 人 (令和3年度)

開館時間	午前9時00分～午後9時00分 ※午後7時以降は、自動貸出機による貸出と閲覧のみ			
休館日	・毎月最終金曜日（館内整理日） ・年末年始（12月29日～1月3日） ・蔵書整理期間			
登録範囲	・町内に在住または通勤通学している方 ・身分証明書の確認により、他市町村の方も登録可能			
貸出点数・期間		点数(点)	期間(日)	延長
	図書	10	14	可
	視聴覚資料	DVD：1、CD：3	14	不可

## 平泉町立図書館の特徴と活動

### はじめに

平泉町立図書館は昭和6年4月に創設され、前図書館（元郵便局の建物を活用）の場所では平成8年12月から25年余、地域住民に見守られて利用されていました。

施設の老朽化に伴い、令和4年7月1日に、新しく平泉町学習交流施設エピカへ移転しました。建物は2階建てで、光と木のぬくもりあふれる温かい空間が出来あがっています。訪れた町民利用者から、明るくて生き生きしていいですねなどの温かいお言葉をいただいています。

### 運営について

これまでの平泉町の直営から、令和4年度より指定管理者として「シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社」が施設を運営しています。平泉町学習交流施設エピカは、公民館、図書館機能を集約し子育て支援機能、多目的ホールを加えた複合施設として誕生しました。町の活力を生み、育てる、にぎわい交流拠点を基本コンセプトとし、人づくりの場、コミュニティの形成・交流の場の役割を担う施設として誕生しました。

今回、図書館リニューアルに伴い、新たに導入されたサービスとして、①雑誌の種類が30誌に増加、②コーナー設置（ヤングアダルト、子育て支援スペースには、おはなし室、だんらんコーナー）、③セルフ貸出機の導入、④蔵書冊数約28,000冊に新刊14,000冊が追加されて合計約42,000冊に、⑤新たにAVコーナーが誕生など、皆さんに利用していただきたいサービスが追加されています。



▲7月オープニングでの企画展

### まだまだ発展途上の段階です

前図書館から新しい図書館への引っ越し作業は、楽なものではありませんでした。引っ越し前の休館時期から7月1日の開館に向けて実質3か月間の中で行われました。図書館の引っ越し経験のある職員もおらず、皆が初めての中で本や備品の引っ越し、配架場所の検

討、申請用紙等の見直しなどを怒涛の中で行いました。当時を振り返ると、記憶があいまい（必死で）で、体力的にも精神的にも辛いことがたくさんある中でしたが、7月1日に無事開館できたことは感無量でした。開館はゴールではなく、新たな道への途中経過であることを胸に、現在も試行錯誤している状況です。

中には「前の方が使いやすかった」などの正直なご意見もいただきます。私たちスタッフも、どうあれば利用者が使いやすいか、過ごしやすいかを第一に考え、日々模索しながら働いています。私たちも施設の一部として、利用者の皆さんに育てていただいております。



▲ボランティアによるおはなし会

### 新しい挑戦

当館では初のイベントとして原画展と実際の作家をお招きしたトーク&読み聞かせイベントを8月に実施しました。絵本「ヤマネコモ布」の著者でもある、山福朱実さんの実際の木版画を展示した原画展は、ぬくもりあふれつつ、生命力が宿っている原画をじっくりと見ることが出来ました。撮影ができるフォトスポットを設置したことで、子ども達を撮影しているご家族の様子が見られました。このイベントでは、山福さんの明るく朗らかな人柄もあって、終始笑いの絶えない時間となりました。絵本の誕生秘話も伺うことが出来、貴重な時間となりました。

これまでと変わらずに取り組んでいきたいこととして、工夫をこらした毎月の企画展示、世界遺産の町でもある平泉町に特化した資料の収集、レファレンス対応について、精力的に取り組んでいきたいと思います。

### 人が集う場所としての役割

複合型施設として、図書館の他、公民館分野と子育て支援分野が組み合わさっていることもあり、毎日多くの来館者が訪れています。訪れた方々が心安らげる、学びと気づきを発見できるそんな場所となりますように、日々励んでまいります。

（平泉町立図書館 担当：佐藤雅子）

# レファレンスコーナー

県立図書館に寄せられたレファレンスの事例を紹介します。

## Q. ドラマ「水戸黄門」のお供の助さんと格さんのモデルになった人物を知りたい。

### 【キーワード】

水戸黄門 水戸(徳川)光圀 助さん 格さん

### 【調査プロセス】

1. 水戸黄門をキーワードに資料を調査。
2. 助さん、格さんのモデルとなった人物の名をもとに人物事典を調査。



### 【回答】

諸国を漫遊し悪を成敗する時代劇「水戸黄門」は、実在した水戸の藩主・水戸(徳川)光圀を主人公に脚色を加えた創作ドラマです。そこで実在した人物の伝承や作品についても記載がある『日本架空伝承人名事典』で調べてみました。水戸黄門の項目 (p.534)に助さんが「佐々十竹」、格さんが「安積澹泊」と名前がありました。また、光圀の行った日本の歴史書である「大日本史」の編纂に関わった人物ということがわかりました。

そこで『三百藩家臣人名事典』『国史大辞典』でそれぞれの人物について調べてみました。

助さんは「佐々十竹」、ほかに「宗淳<sup>むねきよ</sup>」の名前で記載がありました。水戸藩士で学者でもあり「大日本史」の編纂のための資料を集めに各地を旅したそうです(『三百藩家臣人名事典 2』 p.411、『国史大辞典 6』 p.378)。

格さんのモデル「安積澹泊」も水戸藩士で、優れた学者として「大日本史」編纂の中心的存在でした(『三百藩家臣人名事典 2』 p.377、『国史大辞典 1』 p.123)。

2人とも「大日本史」編纂作業のための彰考館<sup>しょうこうかん</sup>で同時期に総裁を務めたことなどがわかりました。総裁を辞したあとは、佐々は隠居した光圀に仕え、安積は変わらず修史作業に関わり続けたそうです(『三百藩家臣人名事典』『国史大辞典』より)。

ドラマの中では武芸に秀でた人物として描かれていましたが、実際の2人は学者として優れた人物であることがわかります。

佐々は普段は温厚で無口な人でしたが、学問に関してはとても雄弁になったそうです。また、後進の指導にも熱心だったそうです。安積はとても謙虚で博識な人物で、水戸を代表する学者でした。その知識の深さは学問だけではなく、趣味の菊作りにも発揮され自分で菊園の経営までしたとのこと。趣味を通じて他の学者たちと交流を深めることもあったそうです(『茨城県の歴史』 p.209)。

共に「大日本史」の編纂を通して、光圀や水戸藩のために尽くしたことが物語のモデルとなったことに繋がっていったのかもしれない。

### 【参考資料】 ※ ( ) 内は当館請求記号

- ・『日本架空伝承人名事典 新版』 大隅 和雄//編集委員 平凡社 2012 (R281.033/ニホ/)
- ・『三百藩家臣人名事典 2』 家臣人名事典編纂委員会//編 新人物往来社 1988 (R 281.03 /サ 3 /2-2)
- ・『国史大辞典 1』 国史大辞典編纂委員会//編 吉川弘文館 1979 (R 210.03 /コ 6 /1)
- ・『国史大辞典 6』 国史大辞典編纂委員会//編 吉川弘文館 1985 (R 210.03 /コ 6 /6)
- ・『茨城県の歴史 第2版』 長谷川 伸三//著 山川出版社 2011( 213.1 /ハ /)

# Q.

## 岩手県立図書館の自動車文庫「こまどり号」について 知りたい。

### 【キーワード】

こまどり号 自動車文庫 移動図書館

### 【調査プロセス】

当館発行の館報、要覧、記念誌等を確認。

### 【回 答】

岩手県立図書館では、かつては館外奉仕活動の一環として自動車文庫(移動図書館車)「こまどり号」の運行を行っていました。こまどり号が運行されていた期間や活動の内容、運行ルートなどについては、岩手県立図書館発行の過去の館報(『館報』、『いわて』)や『図書館要覧』、記念誌『岩手県立図書館のあゆみ』などといった資料から知ることができます。

こまどり号は「県内くまなく図書館サービスを」という声に応じて発足し、昭和 34(1959)年 8 月より運行を開始しました。こまどり号という愛称は一般公募によって選ばれたもので、山間部に多く生息する鳥、駒鳥から名付けられています。岩手県内の図書館や読書施設に恵まれない地域(山間部・へき地など)を主な対象として巡回し、図書の貸出や読書相談、読書グループの育成などの活動を行っていたようです。毎年 3~5 本ほどの運行コース(多い時には 8 コースも!)を決め、各コースを年間数回ずつ、積雪時期を避け春から秋にかけて巡回していました。ここで運行コースの例をいくつかご紹介してみます。(※市町村名は運行当時のものです。)



▲こまどり 1 号

『岩手県立図書館のあゆみ 新館落成記念誌』より

- 下閉伊コース(5 町村 22 駐車場)  
川井村(6)・田老町(2)・田野畑村(5)・普代村(1)・岩泉町(8)
- 九戸コース(4 町村 18 駐車場)  
九戸村(5)・軽米町(4)・大野村(5)・山形村(4)
- 気仙コース(5 市町村 27 駐車場)  
大迫町(3)・宮守村(7)・三陸町(6)・陸前高田市(6)・住田町(5)



このように 1 度の運行でかなりの長距離を走っていたようで、なかなかの大事業だったことがうかがえます。それでも、こまどり号の到着を心待ちにする利用者の声や、もっと駐車場の数を増やしたいと意気込む職員の声なども残されており、やりがいのある仕事だったようです。

そんなこまどり号も昭和 50 年代頃から徐々に運行頻度が減っていき、昭和 60(1985)年 12 月が最後の運行となりました。運行中止の背景には、県内各市町村立図書館の移動図書館車保有台数が増えたことがあります。一定の読書活動推進支援の役割を果たしたとみて、「こまどり号」は 26 年間の歴史に幕を閉じました。この間、図書館車は 1~4 号まで代替わりし、訪問した市町村は延べ 318 市町村にのびりました。

### 【参考資料】 ※ ( ) 内は当館請求記号

- ・『いわて No.19~No.36』 岩手県立図書館 1961~1964 年 (K016.1/1 1/2-19-36) ほか
- ・『岩手県立図書館要覧 昭和 33 年度』 岩手県立図書館 1958 年 (K016.1/1 1/8-58) ほか
- ・『岩手県立図書館のあゆみ 新館落成記念誌』 岩手県立図書館 1969 年 (K016.1/1 1/6) ほか

# 児童コーナーわかば通信

県立図書館児童コーナーの活動をご紹介します。

## おかしばなし探偵

探偵になりきり、昔ばなしに登場する「ももたろう」「うらしまたろう」「きんたろう」の情報を、展示された絵本の中から集めてもらいました。

### 参加方法：

- ① 封筒をひとつえらぶ
- ② 本の中から情報をさがす
- ③ これだ！と思ったら用紙に書いて  
掲示する
- ④ プレゼントをうけとり調査完了！



封筒の中には、何を調べるかが書かれた用紙と、物語にちなんだ折り紙が入っています



よく読まない目当ての情報を見落としてしまったり、絵本によって書かれている情報が異なる難しい問題もありました



集めた情報は掲示し、ほかの探偵にもみてもらいます



最終日の様子  
探偵たちがあつめてくれた情報が裏面までビッシリと貼られています

# 図書館揭示板

県立図書館からの連絡や告知をお届けします

## 令和4年度巡回展のご案内

毎年岩手県立図書館では、学習機会の提供と読書の普及奨励に資するため、過去に行われた企画展の展示資料を再構成し、申し込みのあった市町村立図書館等へ貸出を行っています。

今年度もたくさんのお申込みをいただきました。誠にありがとうございました。

寄せられた希望の日程を調整し、次ページからの日程で開催する予定です。

巡回展の開始2週間前には、ポスターと目録を当館のホームページの「市町村立図書館等ログイン」内「コミュニティ→ライブラリ→展示資料施設貸出（巡回展）」に投稿いたします。展示開催前の告知や配布用目録の印刷、自館の資料を合わせて展示する用意をするなど、事前の準備にご利用いただけます。

今年度の巡回展は、以下のテーマの展示を巡回します。

※手づくり絵本展につきましても、例年通り貸し出しを行う予定です。

### 文学賞受賞図書展

令和3年6月から令和4年5月までの間に発表された文学賞のうち、岩手県立図書館所蔵図書をまとめた展示です。県内14カ所を巡回します。

### 今こそ、縄文。

2021年、一戸町の御所野遺跡が「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成遺産の一部として世界遺産に登録されました。縄文文化の特徴や、御所野遺跡をはじめとした岩手に残る縄文遺跡について紹介する展示です。県内18カ所を巡回します。

### りんごものがたり

日本人にとってなじみ深い果物のひとつであるりんご。岩手県においては品種開発やブランド化など、力を入れて取り組んでいる果物でもあります。人とりんごの関わりや岩手県のりんご栽培について紹介する展示です。県内21カ所を巡回します。

### 啄木資料展

過去2年間に岩手県立図書館が新たに収集した石川啄木関連図書の展示です。県内8カ所を巡回します。

## 『文学賞受賞図書展』展示資料貸出期間一覽

No	貸出期間			貸出施設名	移送期限	移送先
1	2022年	8月26日(金)	～ 9月4日(日)	花巻市立東和図書館	9月8日(木)	岩泉町立図書館
2		9月23日(金)	～ 10月2日(日)	岩泉町立図書館	10月6日(木)	北上市立中央図書館
3		10月7日(金)	～ 10月16日(日)	北上市立中央図書館	10月20日(木)	野田村立図書館
4		10月21日(金)	～ 10月30日(日)	野田村立図書館	11月3日(木)	盛岡市渋民図書館
5		11月4日(金)	～ 11月13日(日)	盛岡市渋民図書館	11月17日(木)	釜石市立図書館
6		11月18日(金)	～ 11月27日(日)	釜石市立図書館	12月1日(木)	花巻市立大迫図書館
7	2023年	1月6日(金)	～ 1月15日(日)	花巻市立大迫図書館	1月19日(木)	紫波町図書館
8		1月20日(金)	～ 1月29日(日)	紫波町図書館	2月2日(木)	花巻市立花巻図書館
9		2月3日(金)	～ 2月12日(日)	花巻市立花巻図書館	2月16日(木)	九戸村公民館図書室
10		3月3日(金)	～ 3月12日(日)	九戸村公民館図書室	3月16日(木)	山田町立図書館
11		4月28日(金)	～ 5月7日(日)	山田町立図書館	5月11日(木)	久慈市立山形図書館
12		5月12日(金)	～ 5月21日(日)	久慈市立山形図書館	5月25日(木)	久慈市立図書館
13		6月9日(金)	～ 6月18日(日)	久慈市立図書館	6月22日(木)	大槌町立図書館
14		6月23日(金)	～ 7月2日(日)	大槌町立図書館	7月6日(木)	岩手県立図書館

## 『今こそ、縄文。』展示資料貸出期間一覽

No	貸出期間			貸出施設名	移送期限	移送先
1	2022年	8月26日(金)	～ 9月4日(日)	盛岡市渋民図書館	9月8日(木)	釜石市立図書館
2		9月9日(金)	～ 9月18日(日)	釜石市立図書館	9月22日(木)	山田町立図書館
3		9月23日(金)	～ 10月2日(日)	山田町立図書館	10月6日(木)	紫波町図書館
4		10月7日(金)	～ 10月16日(日)	紫波町図書館	10月20日(木)	花巻市立花巻図書館
5		10月21日(金)	～ 10月30日(日)	花巻市立花巻図書館	11月3日(木)	岩泉町立図書館
6		11月4日(金)	～ 11月13日(日)	岩泉町立図書館	11月17日(木)	一関市立藤沢図書館
7		11月18日(金)	～ 11月27日(日)	一関市立藤沢図書館	12月1日(木)	花巻市立大迫図書館
8		12月2日(金)	～ 12月11日(日)	花巻市立大迫図書館	12月15日(木)	矢巾町図書センター
9		12月16日(金)	～ 12月25日(日)	矢巾町図書センター	1月5日(木)	二戸市立図書館
10	2023年	1月20日(金)	～ 1月29日(日)	二戸市立図書館	2月2日(木)	久慈市立図書館
11		2月3日(金)	～ 2月12日(日)	久慈市立図書館	2月16日(木)	滝沢市立湖山図書館
12		2月17日(金)	～ 2月26日(日)	滝沢市立湖山図書館	3月2日(木)	一戸町立図書館
13		3月3日(金)	～ 3月12日(日)	一戸町立図書館	3月16日(木)	葛巻町公民館図書室
14		3月17日(金)	～ 3月26日(日)	葛巻町公民館図書室	3月30日(木)	久慈市立山形図書館
15		4月14日(金)	～ 4月23日(日)	久慈市立山形図書館	4月27日(木)	大槌町立図書館
16		4月28日(金)	～ 5月7日(日)	大槌町立図書館	5月11日(木)	八幡平市立図書館
17		5月26日(金)	～ 6月4日(日)	八幡平市立図書館	6月8日(木)	花巻市立石鳥谷図書館
18		6月9日(金)	～ 6月18日(日)	花巻市立石鳥谷図書館	6月22日(木)	岩手県立図書館

## 『りんごものがたり』 展示資料貸出期間一覧

No	貸出期間			貸出施設名	移送期限	移送先
1	2022年	11月18日(金)	～ 11月27日(日)	陸前高田市立図書館	12月1日(木)	大船渡市立図書館
2		12月2日(金)	～ 12月11日(日)	大船渡市立図書館	12月15日(木)	宮古市立図書館
3		12月16日(金)	～ 12月25日(日)	宮古市立図書館	1月5日(木)	釜石市立図書館
4	2023年	1月6日(金)	～ 1月15日(日)	釜石市立図書館	1月19日(木)	大槌町立図書館
5		1月20日(金)	～ 1月29日(日)	大槌町立図書館	2月2日(木)	花巻市立東和図書館
6		2月3日(金)	～ 2月12日(日)	花巻市立東和図書館	2月16日(木)	岩泉町立図書館
7		2月17日(金)	～ 2月26日(日)	岩泉町立図書館	3月2日(木)	二戸市立図書館
8		3月3日(金)	～ 3月12日(日)	二戸市立図書館	3月16日(木)	山田町立図書館
9		3月17日(金)	～ 3月26日(日)	山田町立図書館	3月30日(木)	矢巾町図書センター
10		3月31日(金)	～ 4月9日(日)	矢巾町図書センター	4月13日(木)	八幡平市立図書館
11		4月14日(金)	～ 4月23日(日)	八幡平市立図書館	4月27日(木)	盛岡市渋民図書館
12		4月28日(金)	～ 5月7日(日)	盛岡市渋民図書館	5月11日(木)	花巻市立花巻図書館
13		5月12日(金)	～ 5月21日(日)	花巻市立花巻図書館	5月25日(木)	一関市立藤沢図書館
14		5月26日(金)	～ 6月4日(日)	一関市立藤沢図書館	6月8日(木)	花巻市立大迫図書館
15		6月9日(金)	～ 6月18日(日)	花巻市立大迫図書館	6月22日(木)	奥州市立江刺図書館
16		6月23日(金)	～ 7月2日(日)	奥州市立江刺図書館	7月6日(木)	久慈市立山形図書館
17		7月7日(金)	～ 7月16日(日)	久慈市立山形図書館	7月20日(木)	花巻市立石鳥谷図書館
18		7月21日(金)	～ 7月30日(日)	花巻市立石鳥谷図書館	8月3日(木)	久慈市立図書館
19		8月4日(金)	～ 8月13日(日)	久慈市立図書館	8月17日(木)	一戸町立図書館
20		8月18日(金)	～ 8月27日(日)	一戸町立図書館	8月31日(木)	紫波町図書館
21		9月1日(金)	～ 9月10日(日)	紫波町図書館	9月14日(木)	岩手県立図書館

## 『啄木資料展』 展示資料貸出期間一覧

No	貸出期間			貸出施設名	移送期限	移送先
1	2023年	2月17日(金)	～ 2月26日(日)	大船渡市立図書館	3月2日(木)	大槌町立図書館
2		3月31日(金)	～ 4月9日(日)	大槌町立図書館	4月13日(木)	岩泉町立図書館
3		4月14日(金)	～ 4月23日(日)	岩泉町立図書館	4月27日(木)	久慈市立図書館
4		4月28日(金)	～ 5月7日(日)	久慈市立図書館	5月11日(木)	盛岡市渋民図書館
5		5月26日(金)	～ 6月4日(日)	盛岡市渋民図書館	6月8日(木)	山田町立図書館
6		6月9日(金)	～ 6月18日(日)	山田町立図書館	6月22日(木)	釜石市立図書館
7		6月23日(金)	～ 7月2日(日)	釜石市立図書館	7月6日(木)	一戸町立図書館
8		7月7日(金)	～ 7月16日(日)	一戸町立図書館	7月20日(木)	岩手県立図書館

岩手県立図書館報

# としょかん いわて

No.191

発行日 令和4年11月15日

編集・発行 岩手県立図書館